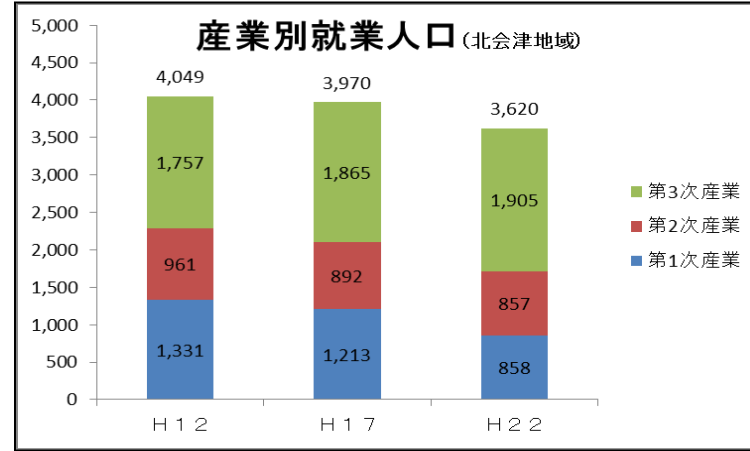
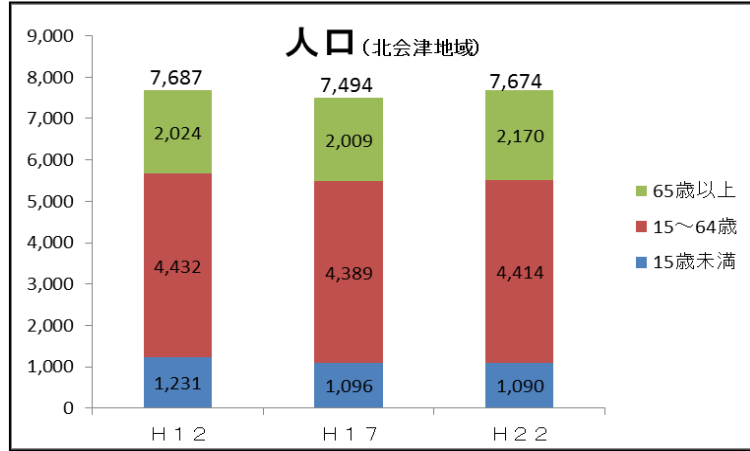


地区別ワークショップ資料(北会津地区WS) 北会津地域

<国勢調査より>



<国勢調査より>

- この地域の人口は、10年間ほぼ横ばいとなっています。年齢別の構成を見ると、15～64歳の生産年齢人口に大きな変化はみられないものの、老年人口が増加し（人口全体の26.3%から28.3%へ増加）、15歳未満の幼少人口が減少（同16.0%から14.2%）へ減少しています。
- この地域の就業人口は、10年で約10%減少していますが、第3次産業は8.4%増加しています。大きく減少しているのは、第1次産業で、10年で約35%、473人の大幅な減少となっています。

<H26年度に実施した市民意識調査結果より>

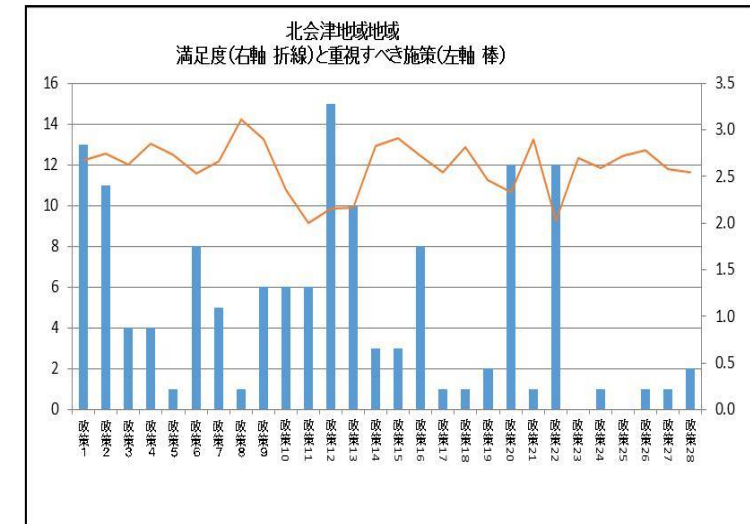
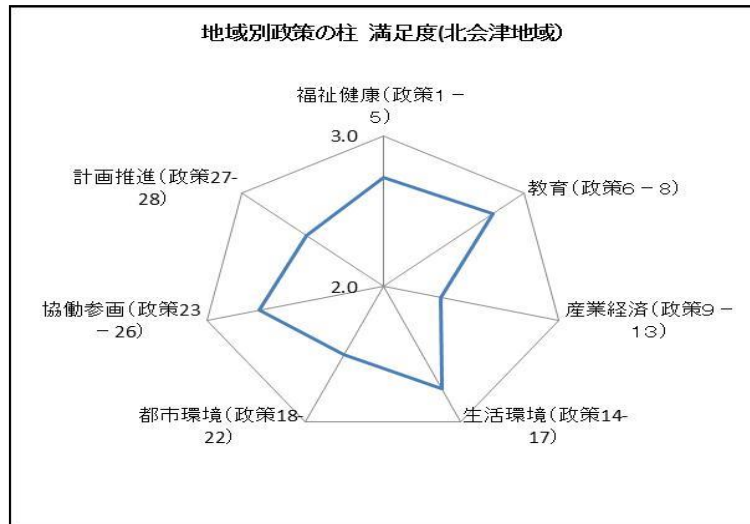
- この地域の政策の柱別の満足度は、すべての分野で市全体を下回っています、特に、市全体では満足度の高い教育分野や、計画推進分野で満足度が低めとなっています。

<H26年度に実施した市民意識調査結果より>

- 重視すべき施策として、雇用の安定化が突出して希望が多く、子育て、高齢者対策、都市交通対策、雪対策なども多くなっています。一方、中心市街地活性化や、農林業振興、雪対策政策に対する満足度が低くなっています。

<市民意識調査(H26)より>

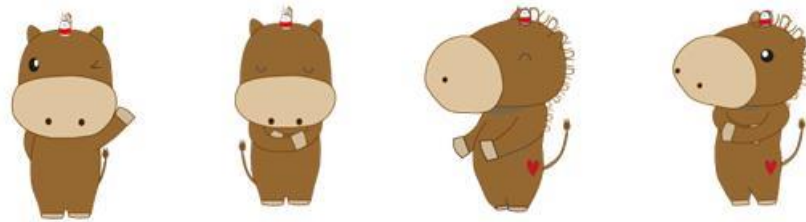
3	普通
2	やや不満
1	不満



【参考1】分野別政策

福祉健康	政策1) 子育てしやすいまちをつくる 政策2) 高齢者が元気にくらせるまちをつくる 政策3) 自立と社会参加を推進するまちをつくる 政策4) 健康づくりが充実したまちをつくる 政策5) 誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる
教育	政策6) 豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる 政策7) スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる 政策8) 歴史・文化を守り育てるまちをつくる
産業経済	政策9) 観光を振興し活気のあるまちをつくる 政策10) 商工業を振興し経済活力あふれるまちをつくる 政策11) 中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる 政策12) 雇いを安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる 政策13) 生産性の高い農林業がいきづまちをつくる
生活環境	政策14) 環境と調和した地球にやさしいまちをつくる 政策15) 環境への負荷が少ないまちをつくる 政策16) 安全で安心できるまちをつくる 政策17) 情報化の進んだまちをつくる
都市環境	政策18) 花と緑にあふれるまちをつくる 政策19) 快適な都市空間が形成されたまちをつくる 政策20) 都市交通対策が進んだまちをつくる 政策21) 身近な住環境が整備されたまちをつくる 政策22) 雪に強いまちをつくる
協働参画	政策23) ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる 政策24) 男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる 政策25) 市民活動が活発なまちをつくる 政策26) 連携と交流が盛んなまちをつくる
計画推進	政策27) 評価システムによる行政運営を行う 政策28) 効率的で効果的な行政運営を行う

	市全体	当地域	市全体との差
福祉健康(政策1-5)	2.8	2.7	△ 0.07
教育(政策6-8)	3.0	2.8	△ 0.20
産業経済(政策9-13)	2.4	2.3	△ 0.06
生活環境(政策14-17)	2.9	2.8	△ 0.15
都市環境(政策18-22)	2.6	2.5	△ 0.13
協働参画(政策23-26)	2.8	2.7	△ 0.10
計画推進(政策27-28)	2.8	2.5	△ 0.21



- この地域は、阿賀川の西側に位置し、農地と集落が調和した田園風景が広がる地域です。北会津支所周辺に公民館やホテルの森公園などの公共施設等が集積し、地域の中心となっています。
- 地域には、集落が点在し、集落ごとに寺社があり、農地、集落とともに田園風景を構成する重要な要素となっています。
- 広大な農地の中に集落が点在する田園風景は、地域の原風景となっています。農業後継者問題等、農業を取り巻く環境の変化から、耕作放棄地等が見られるようになっていきます。
- 中心市街地とは、国道401号、県道により結ばれています。地域内には会津本郷駅がありますが、地域の南側にあるため、中心市街地には自動車利用が主体となっています。

(会津若松市都市計画マスタープランより)

【参考2】市税収の推移

